学校番号	3002

令和８年度　農業科（資源動物科）

教科	農業	科目	資源動物	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	飼育と環境　（海文堂出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

農業の見方・考え方を働かせる学習活動を通して、飼育動物の飼育環境の調節・管理に必要な資質、能力の育成をめざします。
・飼育と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養うことをめざします。
・飼育と環境について農業生物の飼育や管理に応用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことをめざします。
・本授業では、飼育と環境・家畜の繁殖技術の 2 分野について学習を行います。そのためノートは事前に 2 冊準備しておきましょう。
・授業内課題やノート提出等は必ず期限を守り、提出しましょう。
・授業内課題や授業内での発表は積極的に取り組みましょう。
・ノートについては板書を写すだけでなく、必要と感じた内容や気づいたことなども記入しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
○動物の飼育技術と環境について理解するとともに、関連する技術を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
○動物の飼育技術と環境に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
○動物の飼育技術と環境について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	動物の飼育技術と飼育環境、衛生管理の重要性について理解するとともに、家畜に関連する人工授精や受精卵移植などの知識を身に付けている。	動物の飼育技術と飼育環境、衛生管理について理解するとともに、病気の発症や感染を未然に防ぐための飼養衛生の重要性を理解し、対策や対処方法等の考察ができている。	動物の飼育技術と環境や改良技術、繁殖技術においても自ら学び、主体的に取り組んでいる。 授業内で個人活動やグループワーク等において自身の意見を伝えつつ、他者と協働的に取り組むことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	飼育と環境	動物の種類と特性 発育と環境	a:動物の分類法や特徴、生理・生態的な特性について理解している。 b:動物の特性と飼育環境との関係を分析し、考察することができる。 動物福祉（アニマルウェルフェア）に適した飼養管理を分析・考察できる。 c:飼育動物の健康管理と衛生管理に興味・関心を持っている。	ノート 課題 発表 定期考査	ノート 課題 発表 定期考査	授業観察 ノート 課題 発表 定期考査
	家畜の繁殖技術	動物の生殖生理と繁殖管理 性現象の生理	a:動物の生殖生理や繁殖管理について理解している。 b:性現象と環境との関係を理解し、分析・考察することができる。 c: 動物の生殖生理や繁殖管理に興味・関心を持っている。			
2学期	飼育と環境	衛生と環境	a:飼育動物に関わる法律や制度、GAP や HACCP 等による衛生管理や環境保全を理解している。 b:病気の発症や感染を未然に防ぐための飼養衛生の重要性を理解し、対策や対処方法等の考察ができている。 c:動物に関する法律や飼養衛生等に興味・関心を持っている。	ノート 課題 発表 定期考査	ノート 課題 発表 定期考査	授業観察 ノート 課題 発表 定期考査
	家畜の繁殖技術	妊娠から分娩の仕組み 受精 妊娠と分娩	a:動物の繁殖生理、交配、出産など繁殖管理について理解している。 b: 生殖生理や繁殖の仕組みなどについて理解し、分析・考察することができる。 c: 動物の繁殖生理、交配、出産など繁殖管理に興味・関心を持っている。			

3学期	飼育と環境	飼育技術と管理・評価 産業動物 実験動物	a: ヒツジ、ヤギ、ウマの特性や健康管理、飼養衛生方法等について理解できている。また、実験動物においても生命尊重の観点から、健康管理、飼養衛生方法等について理解できている。 b:動物の生理・生態と飼育管理との関係などについて分析、考察できている。 c: ヒツジ、ヤギ、ウマや実験動物の特性や健康管理、飼養衛生方法などに興味・関心を持っている。	ノート 課題 発表 定期考査	ノート 課題 発表 定 期 考 査	授業観察 ノート 課題 発表 定期考査
	家畜の繁殖技術	家畜の改良技術と繁殖技術 家畜の改良技術	a:動物の改良技術や繁殖技術について理解している。 b:家畜人工授精技術や受精卵移植技術などについて理解し、分析・考察することができる。 c: 動物の改良技術や繁殖技術について興味・関心を持っている。			

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度